

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あおぞらテラス			
○保護者評価実施期間	2024年11月25日		～	2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22家庭	(回答者数)	18家庭
○従業者評価実施期間	2024年11月25日		～	2024年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日違うプログラムを組み、こどもたちが飽きることのないよう、また週1日の利用でも4週通所することで総合的に様々なアプローチができるように計画している。	こどもたちの集中力を考慮して集団での時間は間延びしないように工夫した内容展開を心がけている。	その日その時の子どもたちの様子や季節に合ったよりよい活動プログラムを計画し、集団と個の自由時間のバランスを大切に過ごせるように整えていく。
2	外出イベントなどは、祝日や長期休暇期間などに計画し長時間利用でも一日楽しめるように取り入れている。	季節感や年齢層に合わせて内容を検討し、「認知・行動」や「人間関係・社会性」を意識して目的設定を行っている。	利用児童の興味関心を考慮して新施設の情報収集を行う。
3	児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行が安心かつスムーズにすすめられるよう、必要に応じて園との連携を図りながら就学へのサポートを行っている。	就学に向けたサポートでは家庭との連携を密に行い、セルフプランの家庭に対しては受給者証や上限額管理などの事務的な移行も丁寧な説明を行っている。	小学校卒業の移行期も安心して過ごせるよう家族支援を行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設周辺の福祉サービスや子育て支援サービス、地域や自治会などとのつながりが少ない。	開所が令和元年でコロナ禍という状況であり周辺施設との交流は控えていた。	地域の協議会に参加するなど外部とのつながりに参加し、顔を合わせる機会を増やしていく。(現在進行中)
2	今までは家庭や家族参観の機会が少なく、事業所内での様子を十分に伝えることができていなかったと思われる。	数年前までは利用児童も少なく、参観の希望の声もあまりなかったため、そのような取り組みの計画が出てきにくかった。	外出イベントなどでの親子参加の呼びかけや、令和6年に実施した保護者の茶話会を定期的に計画していく。
3	様々な資格や職種がいる中で、ガイドラインや法令などのアップデートとスキルアップのための研修(社内研修含む)を計画的に実施していく必要があると思われる。	情報収集力と発信力が全体的に弱かったため積極的な研修の流れが確立できていなかった。	スキルアップの外部研修も視野に入れながら、オンラインや市内の研修情報を集め職員の質の向上に努める。